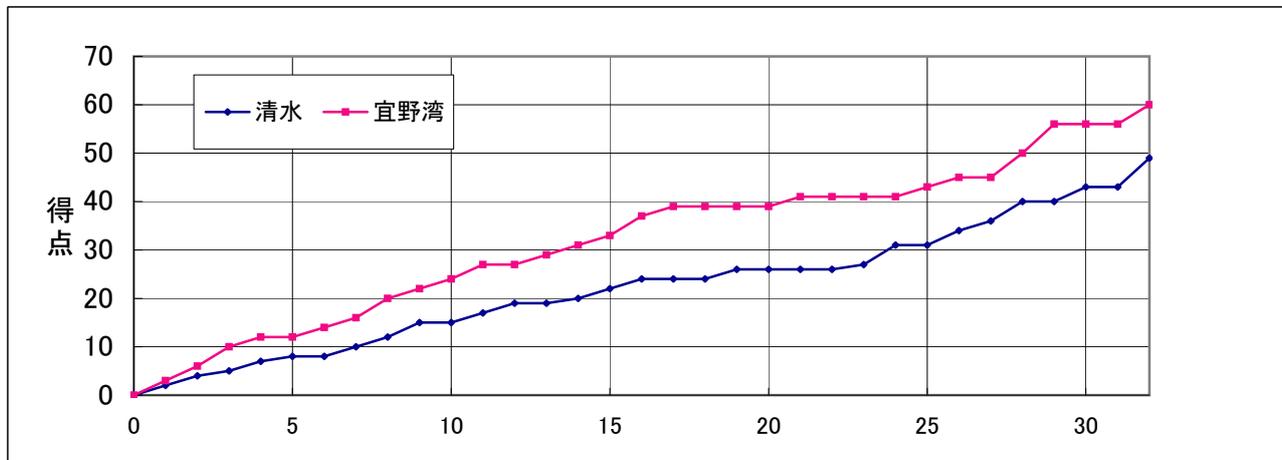


大会名	平成21年度 第30回全九州中学生 バスケットボール春季選手権大会	A4	13:30	男子1回戦															
		清水 51 (鹿児島1位) ●	<table border="1"> <tr><td>12</td><td>—</td><td>20</td></tr> <tr><td>12</td><td>—</td><td>17</td></tr> <tr><td>7</td><td>—</td><td>4</td></tr> <tr><td>20</td><td>—</td><td>19</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	12	—	20	12	—	17	7	—	4	20	—	19	—	—	—	60 宜野湾 ○ (沖縄2位)
				12	—	20													
12	—	17																	
7	—	4																	
20	—	19																	
—	—	—																	
2010年(平成22年)3月13日(土)																			
会場	大分県立総合体育館																		

主審 園田 昌彦 副審 松田 英樹



1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2			
10:04	—	21:21	30:37	—	—	—

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 野間 進太郎 (C)	19	3	5	0	3
5	* 源川 翔太	4	0	1	2	2
6	* 岡元 浩亮	2	0	1	0	1
7	松田 将大	—	—	—	—	—
8	川畑 良介	—	—	—	—	—
9	戸高 七央斗	—	—	—	—	—
10	大内山 浩基	—	—	—	—	—
11	赤尾 朱祐	—	—	—	—	—
12	藤崎 徹也	—	—	—	—	—
13	* 朝倉 栄紀	11	0	4	3	3
14	稲次 拓斗	—	—	—	—	—
15	鶴永 雄大	—	—	—	—	—
16	水口 俊知	—	—	—	—	—
17	渡辺 和博	—	—	—	—	—
18	* 中園 健悟	15	2	4	1	4
コーチ	川添 裕司	—	—	—	—	—
合計		51	5	15	6	13

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2			
15:35	—	26:28	—	—	—	—

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 上間 麗央 (C)	9	1	3	0	1
5	神谷 龍	—	—	—	—	—
6	* 安里 拓真	8	0	4	0	3
7	* 仲本 賢志郎	32	3	8	7	2
8	* 玉吉 史享	4	0	2	0	1
9	* 与那嶺 真吾	3	0	1	1	2
10	久手堅 力	—	—	—	—	—
11	金城 航	—	—	—	—	—
12	泉川 寛斗	—	—	—	—	—
13	宇地原 翔	—	—	—	—	—
14	城間 涼太	4	0	1	2	1
15	宮里 恭平	—	—	—	—	—
16	米須 瑠太郎	—	—	—	—	—
17	仲村 達也	—	—	—	—	—
18	榮 祐希	—	—	—	—	—
コーチ	仲松 みのり	—	—	—	—	—
合計		60	4	19	10	10

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

1回戦の第4試合、鹿児島第1代表清水中学校と沖縄第2代表宜野湾中学校の試合が行われた。ティップオフは清水のボールからスタートしたが、立ち上がり宜野湾#7仲本の3Pが決まる。両チームともハーフコートマンツーマンで手堅く守る展開となる。宜野湾は#9与那嶺#6安里のセンタープレイなど高さを生かしたオフェンスで、徐々にリードを広げるが、清水もモーションオフェンスで食い下がる。宜野湾は#4上間#7仲本のピックオフプレーが決まり、第1Qは12—20宜野湾リードで終える。

第2Qは清水#4野間の3Pで反撃を開始するが、宜野湾は#7仲本のセンタープレイで応酬する。清水は宜野湾の高さに苦しみ、再三のシュートチャンスもブロックに阻まれる。さらに宜野湾#4上間の3Pが決まり第2Q中盤で10点をリードする。宜野湾はリバウンド本数で上回り、ダブルポストを生かしたナンバープレイで得点し、前半を24—37で終了。

第3Q、互いに粘り強く守り合い、得点がストップする。残り2分41秒26—41宜野湾に15点のリードを許し、清水川添監督はタイムアウトをとる。清水は、#5源川が3Pファウルを得て2得点、さらに#4野間のドライブが決まり31—41、清水は10点差に縮める。

最終4Q、エンドからのインバウンドフォーメーションで宜野湾#7仲本が得点するも、清水#18中園がシュートを決め、9点差につめたところで宜野湾仲松監督がタイムアウト。清水はフルコートマンツーマンで勝負に出るが、宜野湾#7仲本がバスケットカウント3Pプレーで応酬する。残り3分、宜野湾#4上間のスティールからファーストブレイクが決まる。清水#18野間のドライブもダブルチームでシュートブロックされる。#4野間の3P#13朝倉のスティールで10点差となるが、最終得点は50—60で宜野湾が逃げ切った。

© 2010 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.0063

記載者 土谷、武野 (所属) 大分県バスケットボール協会